



令和5年度 2月号

園だより

穴川花園幼稚園

今日の「ののさま」のことば

ぜんじょうせいじゃく
禅定静寂

こころ静かに、自らを見つめて生活しよう。

一粒のあずき

くすのきまつり、寒さと風で大変でしたねえ。でも、委員さんはじめみなさんの熱意で盛況裡に終えることができ、ありがとうございました。そして、おつかれさまでした。

りじちよう屋のライバル出現、その名もねんちよう屋！取り扱う商品は、おしるこ・もなか・お赤飯。それも、ネイチャーランドで自分たちで育てた小豆を使っているという、地産地消をうたい文句にした商品が並ぶ。まさに手作り品のオンパレード。強烈なライバルである。

原材料の小豆の栽培は、結構ほったらかしでも収量を見込まれる手間いらずである。運動会やおさらい会の活動で市原に出かける時間がなくとも、小豆たちは元気に育っていた。そして、収穫期。子どもたちがさやの一房一房を丁寧に収穫し、畑に落ちた小豆を一粒も見逃さずに集めて来た。

さて、豊作の小豆で何を作ろうかと夢が膨らんだ。そんな時に、おもちつきの時期となり、つきたてのお餅をあんころもちにした。ほっぺたが落ちるといふ形容にふさわしい美味だった。

た。そこから、小豆であんこを作れば、いろいろなことができることに気づいた、いや、味を占めた。そして、くすのきまつり。くだんの商品づくりとなったのである。

それぐらいバリエーション豊かな食べ物に変化する小豆は、昔は年貢として扱われる程貴重だったという。しかし、凶作の時もあり、農民たちは困窮した。そんなとき、お手玉の中に小豆を忍ばせ、子どものおもちやだといって年貢から逃れたという話を聞いたこともある。

小豆を育てた年長さんも、サッカー選手、パティシエ、お花屋さんなど、小豆に負けず劣らず無限の可能性を秘めている。そんな年長さんから、売り上げのお金で能登半島地震でランドセルをなくしてしまった子どもたちに、鉛筆やノートを買って送ってあげたいという声があるのである。一粒のあずきから、地震で被災した子どもたちにまで思いを寄せられる年長さんは、さらなる可能性と想像力を膨らませることができたに違いない。一粒のあずき、おそるべし。

来年のりじちよう屋は、ねんちよう屋に負けないぞと、自らのわずかな可能性を模索してみようと意を新たにしたくすのきまつりでした。

日	曜	活動内容	保育	預かり	体操教室			給食	課外
					長	中	少		
1	木	『なかよしお弁当デイ』 年長組お茶のおけいこ	一日	○		○			×△
2	金	節分	一日	○				○	
3	土	ネイチャーランドQ部隊	休園						
4	日		休園						
5	月	年中組お茶のおけいこ	一日	○				○	
6	火	個人面談	半日	○		○			●
7	水	お誕生会 個人面談	半日	○					
8	木	個人面談	半日	○			○		▲
9	金	個人面談	半日	○					
10	土		休園						
11	日	建国記念の日	休園						
12	月	振替休日	休園						
13	火		一日	○	○			○	○
14	水	年中組プール	一日	○					
15	木	涅槃会	一日	○		○		○	△
16	金	観劇会 避難訓練	一日	○				○	
17	土		休園						
18	日		休園						
19	月	新入園児一日入園	休園						
20	火	年長組お茶会	一日	○		○		○	○
21	水	年長組プール	一日	○					
22	木		一日	○		○		○	△
23	金	天皇誕生日	休園						
24	土		休園						
25	日		休園						
26	月	開園記念日	休園						
27	火		一日	○	○			○	○
28	水		一日	○					
29	木	行事前保育	半日	○					▲

【節分】 1日・2日（金）



1日は『なかよしお弁当デイ』ですので、みんなで恵方巻を食べ、2日は理事長先生のお話を聞いた後、豆まき・鬼さんと記念撮影などを行います。また、子どもたちが一年で一番良い子になる日でもあります。

恵方巻や大豆を食べる際には、誤嚥等の危険のないよう、よく噛んでゆっくり食べるように気をつけていきたいと思ひます。



【涅槃会】 15日（木）

お釈迦様の亡くなった日のお参りです。お涅槃の大きな掛け軸を見ながらお参りをします。園舎のとなりの大きな涅槃像にもお参りに行きます。お供物を差し上げます。

【一日入園】 19日（月）

令和6年度の新入園児の一日入園・教材配布を行います。在園児は休園となります。



【お茶会】 20日（火）

年中組のときから2年間「お茶のお作法」では、お菓子のいただき方、お茶のいただき方、お辞儀の仕方、感謝の心の表し方、歩き方、などを行ってきました。その集大成の「お茶会」です。年長委員のお母様方をお招きいたします。



年長組も委員のお母様も、白くつ下で参加して下さい。



単元	保育のねらい	活動	予想される子どもの状態と対応	
年長組	みん	生活や遊びの中で、数・量・形・文字などに興味や関心を持つ	『小学校へ行こう！の巻』	就学に向けてはじまった『れんらくちょう』の活動は、文字への興味だけでなく、自分で伝える・自分で用意することが自信になります。そうして自分で持って来た縄跳びは、挑戦する気持ちにも繋がっているようです。「やってみたら出来た」「やってみたら楽しかった」という体験をしながら、諦めずに取り組みるようにし励ましていきます。小学校への期待が膨らむ一方で、不安を感じることもありますが、一緒に悩まず、明るく声をかけてあげましょう。
		戸外で友だちと一緒に思いきり体を動かして遊ぶ	『跳ねる！回す！数える！の術』	
年中組	なでと	年長さんに憧れの気持ちをもち、色々なことを教わりながら、進級に期待をもつ	『年長さんになりたいな！なれるかな？近づこう！』	これまで憧れていた年長組に、いよいよ近づいてきました。期待を抱いて進級が迎えられるように、年長組の活動を見学に行ったり、当番活動にグループで取り組んでみたりしながら活動して行きます。お家でもたくさん話をしながら張り切りを認めてあげ、言葉や心を豊かにしてあげたいですね。そして、お手伝いや自分で出来ることは任せたりして、お兄さんお姉さん扱いしてあげましょう。
		友だちと意見を出し合っ一緒に遊ぶ楽しさを味わう	『友だちの思いを聞いてみよう』	
年少組	りくも	友だちと意見を伝え合いながら、一緒に遊びを楽しむ	『「ねえねえ！どうする？」お友だちともっとなかよし！』	やさしく声を掛けてもらったりお世話をしてもらった経験から、お兄ちゃんお姉ちゃんに憧れている年少組。先生を頼らなくても生活も遊びも自分ですることができるようになりました。幼稚園で出来ることはお家でもきちんとする習慣を付けることや、「こんな時はどうする？」など方法や約束ごとを、理由や意味がわかるように教えてあげましょう。お子さんからのお話や、おたより帳に書かれていた園での姿などを、お家でも認めたり頼りにしながら一緒に取り組んで行きましょう。
		異年齢児との関わりを通して、もうすぐお兄さん、お姉さんになる意識をもつ	『年中・年長さんみたいに大きくなるってことは…！？』	
満三歳児	う	一人でできた喜びを味わう	『年少さんになれるかな？』	お兄ちゃんお姉ちゃんがすることに興味をもって、つい行こうとする反面、寒い日などは、園庭に出て遊ぶことを嫌がったり、先生にくっついて離れなかったりして、気分が安定しない姿があります。頑張ってきた時は褒め、気が乗らない時には手伝いながら、あたたかく受け止めて、安心して過ごせるようにしましょう。

新れんらくアプリ導入

来年度より、新しい携帯電話サービスを導入することになりました。新しいシステムでは、バスや緊急メール、預かり予約等が全て一つになります。その他、欠席や遅刻の連絡なども、アプリを使って行うことが出来るようになります。2月半ばにはご案内のお手紙を配布させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

